調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

〇全国学力・学習状況調査
＜国語＞
　平均正答率で全国平均を3.1ポイント上回り、無回答率も全国平均より2.3ポイント低かった。内容別の正答率でも、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」のすべてにおいて全国平均を超え、特に「書くこと」では5.9ポイントと大きく上回った。
＜数学＞
　平均正答率で全国平均を8.0ポイント上回り、無回答率も全国平均より4.0ポイント低かった。領域別の正答率でも、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」のすべてにおいて全国平均を超え、特に「図形」では10.0ポイント、「データの活用」では13.1ポイントと大幅に上回った。
＜英語＞
　学習者用端末を用いたオンライン方式による調査で、平均IRTスコアにおいて全国平均を17ポイント上回った。技能別で見ると、「話すこと」の平均正答数が全国平均をやや下回った点が課題である。

今後に向けて

　全国学力・学習状況調査の結果から、学力面では一定の成果が見られる。学校での授業や家庭での学習など、しっかり取り組めていることが結果につながっていると考えられる。また、全国や大阪市の平均と比べて自己肯定感が高いことが生徒質問調査の結果に表れている。今後も全学年で生徒が達成感や満足感を味わい、自己肯定感を高めていけるような教育活動を継続していきたい。